

IR HANDBOOK

第72期

第2四半期のご報告

2020.4.1—2020.9.30



私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業と食品関連事業の双方を成長の牽引役とし、当社事業と社会が持続的かつ相互的に発展するサイクルを展開させていきます。

貴金属関連事業



VISION “東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー”
セグメント従業員数 **1,105** 名
2020年9月30日現在

事業の成り立ち
ルーツ: 1935年、フィルムなど写真感光材料から銀の回収・製錬を開始
銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開。定着液や現像液の処理を伴うことから、環境事業としても発展

貴金属事業の概要
・貴金属回収製錬、貴金属材料・製品の製造販売および薄膜形成装置治具の洗浄を展開
・エレクトロニクス、宝飾、歯科、触媒業界などが主要顧客

貴金属事業の強み
① 安定的なサプライチェーンに貢献する循環型ビジネスモデル、高純度の貴金属を精製する高度な技術、一貫した貴金属リサイクルシステムを提供
② 東アジアで展開する貴金属原料集荷と貴金属材料・製品供給のネットワーク
③ 高度なりサイクル技術から生み出された貴金属地金ブランドへの信頼
④ 治具の再生とともに、貴金属を回収しリサイクルする精密洗浄

環境事業の概要
・廃酸、廃アルカリ、廃油、汚泥、廃プラなど産業廃棄物の収集運搬、無害化処理および資源リサイクルを展開
・エレクトロニクス、化学・製薬業界、医療機関等が主要顧客

環境事業の強み
① 産業廃棄物の無害化処理技術と有効利用で、お客様のゼロエミッション達成に向けた効率的な再資源化リサイクルに貢献
② 全国をカバーする国内屈指の収集運搬リサイクルネットワーク



食品関連事業

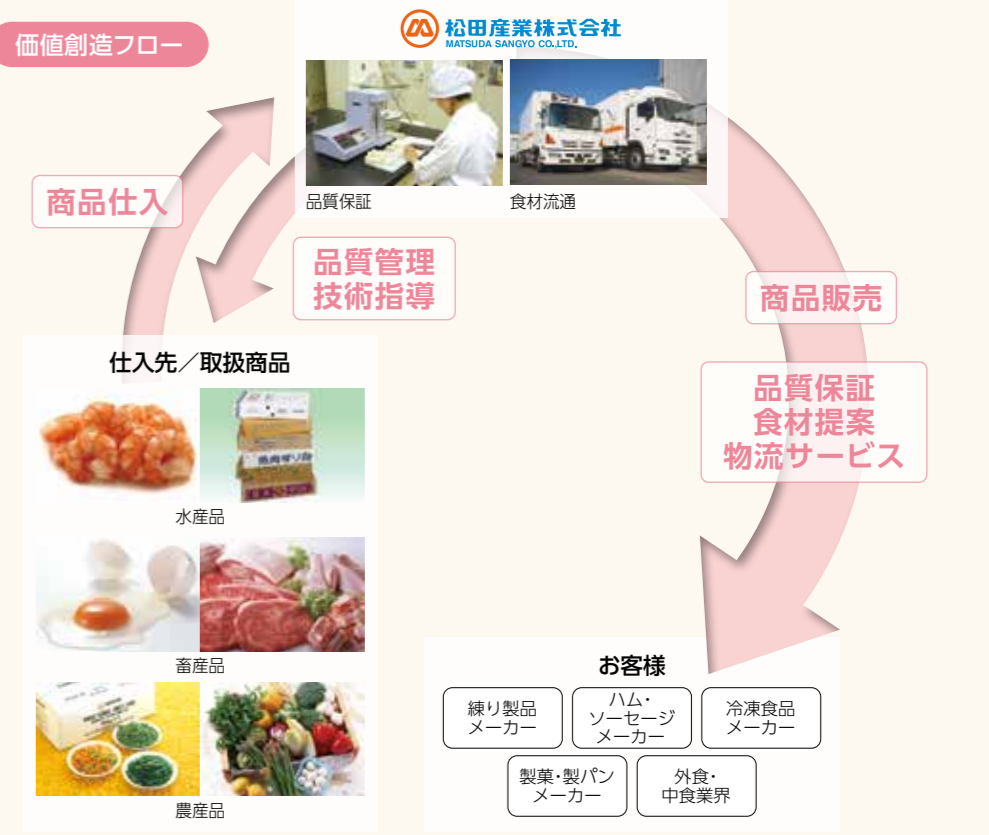


VISION “お客様の商品開発のベストパートナー”
セグメント従業員数 **264** 名
2020年9月30日現在

事業の成り立ち
ルーツ: 1948年、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売
魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大

食品関連事業の概要
・欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達
・練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品等の加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界が主要顧客

食品関連事業の強み
① 魚肉すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、チキン、ポーク、ビーフ、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な食材を提供。現地法人を活用し、グローバルな調達ネットワークを展開
② ニーズに沿った加工地や産地を提案し、ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな食材を提供
③ 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行、トレーサビリティの実施等により、当社ならではの「安全・安心」の差別化



社会の変化に適応し、 進化し続けることで、 サステナブルな 企業価値向上を目指します。



代表取締役社長 松田 芳明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社の2021年3月期第2四半期(2020年4月1日～2020年9月30日)の
IR HANDBOOKをお届けいたします。
本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2021年3月期第2四半期の業績と 配当についてお聞かせください。

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費が失速し企業活動が停滞するなど、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言の解除後は経済政策により国内経済に一部回復傾向がみられますが、世界各地での感染再拡大や米中貿易摩擦等から、先行きは依然として不透明となっています。

こうしたなか貴金属関連事業では、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保や化成品等の販売、産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。その結果、産業廃棄物処理の受託が減少した一方、貴金属リサイクルの取扱量は緩やかに増加し、金製品等の販売量が増加したほか、貴金属相場の上昇もあり、増収増益となりました。

食品関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンの混乱が懸念されるなか、安定供給責任を果たすとともに、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供による拡販に努めました。その結果、農産品の販売量は増加しましたが、水産品や畜産品の販売量が減少したほか、保管料等の増加もあり、減収減益となりました。

以上により、当社の2021年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高は前年同期比9.9%増の1,116

億77百万円、営業利益は同14.3%増の36億69百万円、経常利益は同13.2%増の36億83百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同19.8%増の27億35百万円となりました。

第2四半期末の配当金については、期初予定通り1株当たり18円といたしました。また、2021年3月期の期末配当は18円を予想し、年間配当は、前期から2円増配の36円とする予定です。

2021年3月期通期の業績予想が 上方修正となりました。 足元の事業環境認識と、全社の 取り組み方針を教えてください。

2021年3月期通期の業績予想は、当第2四半期の業績が、8月に公表した予想に対し貴金属相場の上昇の影響等から上振れたほか、貴金属関連事業の取扱高が緩やかに改善していることなどから上方修正いたしました。しかしながら、事業環境の先行き不透明感は依然として強く、予断を許さない状況です。当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対し従業員ならびに関係する全ての皆様の安全を最優先して感染防止に努めるとともに、2021年度までの中期経営計画のもと、持続的成長と企業価値の向上に向け、事業の拡大に取り組めます。

各セグメントの重点施策と、株主の 皆様へのメッセージをお願いします。

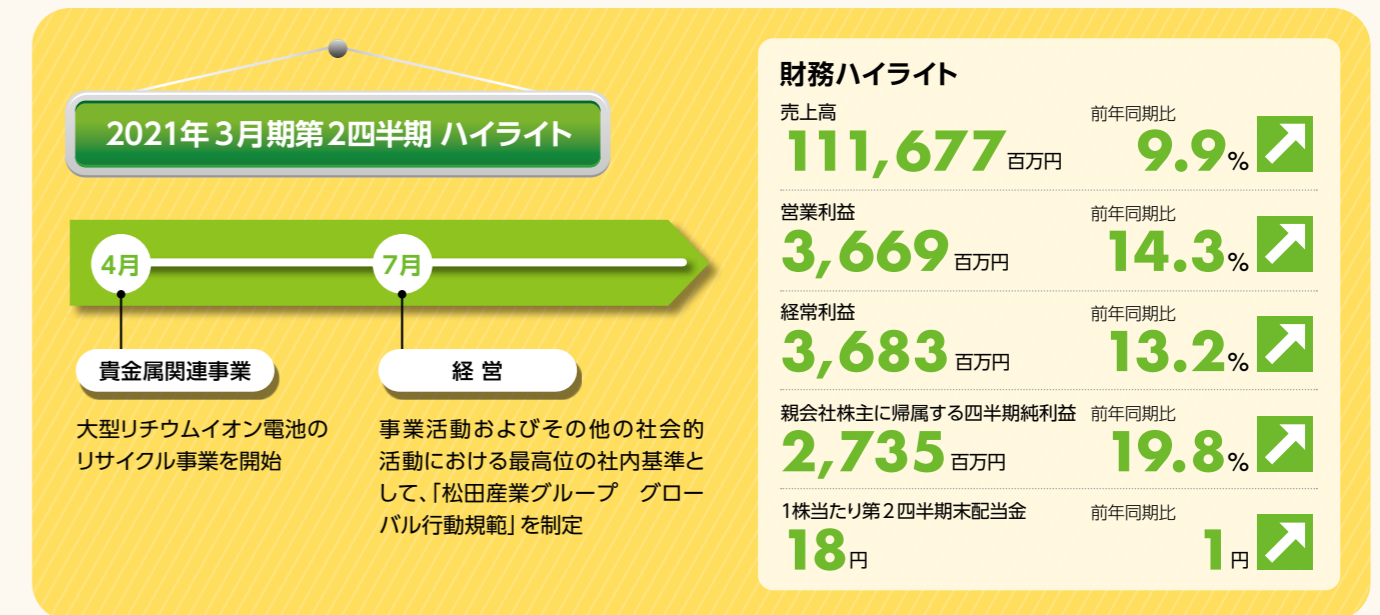
「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」の実現を目指す貴金属関連事業では、「基幹事業の基盤強化」「資源循環ビジネスを始めとする顧客価値提案強化と営業体制整備」等の経営戦略を継続し、国内拠点の整備や海外地域戦略を強化します。その一環として投資を進めてきた関工場の前処理設備がこのたび本格稼働したほか、東北地方の新たな物流拠点も、年内の稼働を予定しています。

「お客様の商品開発のベストパートナー」の実現を目指す食品関連事業では、引き続き「基幹事業の基盤

強化」「強い商品作りの為の開発／品質保証／生産管理支援機能強化」「顧客ニーズに応じた商品ラインナップ拡充」等の経営戦略のもと、変化する顧客ニーズを着実にとらえてまいります。その一環として現在進めている大豆ミート原料の開発では、冷凍原料として仕上げることで多くの付加価値を実現し、来年度より本格販売を予定しています。

事業環境の激しい変化が続きますが、当社グループは、これら両事業を牽引役とする成長戦略に今後も注力し、資源の有効活用と安定供給により、社会に貢献し続けていきます。

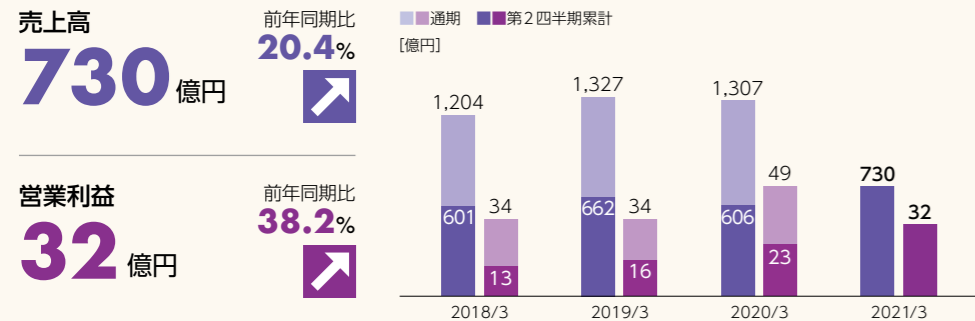
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



貴金属関連事業

2021年3月期第2四半期の業績

主力顧客であるエレクトロニクス業界は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除後は電子部品・デバイス分野において緩やかな回復がみられました。こうしたなか、産業廃棄物処理受託は減少したものの貴金属リサイクルの取扱量は緩やかに増加し、金製品等の販売量増加に加え貴金属相場の上昇もあり、売上高および営業利益が増加しました。



通期の見通しと施策

顧客需要は今後も緩やかな回復が期待されるものの、足元における新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の動向がおよぼす影響は不透明であることから、環境変化への適切・迅速な対応と中期経営計画の戦略により、業容の維持拡大を図ります。

INVESTMENT STRATEGY

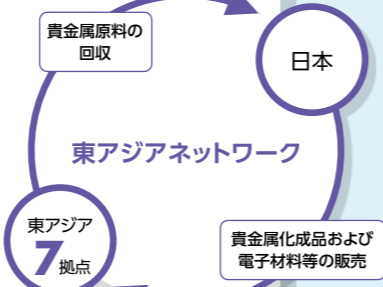
関工場新棟および仙台事業場を開設

貴金属関連事業では、現在進行中の中期経営計画に基づき、国内拠点の設備投資を進めています。かねてより投資を進めていた関工場の前処理設備(関工場新棟)が完成し、本格稼働を開始しました。また、仙台の新事業場も本年中の開設を予定しており、東北地方の営業および物流拠点として今後さらなる事業拡大を進めていきます。当社は今後も、製品・技術開発や、国内外の拠点整備・機能拡充など、事業拡大に必要な成長投資を積極的に実施していきます。



貴金属関連事業

拠点



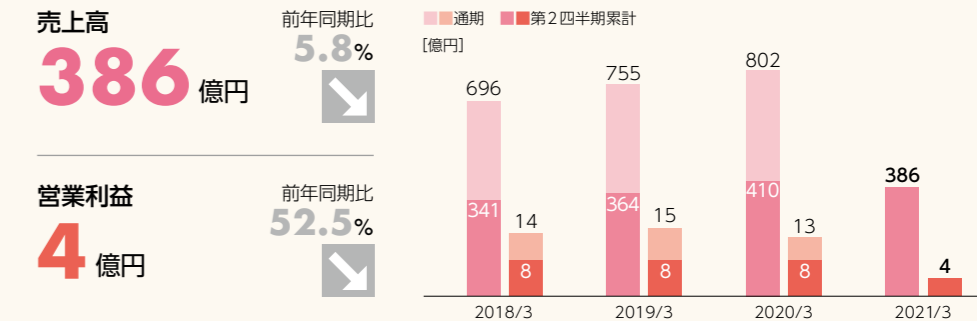
東アジア&グローバルネットワーク



食品関連事業

2021年3月期第2四半期の業績

主力顧客である食品製造業界は、緊急事態宣言の解除後は徐々に回復したものの業務用需要や土産物販売の低迷が続きました。一方、巣ごもり需要による冷食・加工食品等の生産は増加するなど、好不調のばらつきが継続しました。こうしたなか、農産品の販売量は増加したものの水産品と畜産品が減少したことから売上高は減少し、保管料等の増加などもあり営業利益も減少しました。



通期の見通しと施策

新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響等から引き続きサプライチェーンの停滞や顧客需要の落ち込み等がリスクとして見込まれるため、環境変化への適切・迅速な対応と中期経営計画の戦略により、収益の確保を図ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT

食資源の持続可能性に配慮し、利便性や生産性も高い大豆ミート原料を開発



Agriace ソイミートベースSの調理事例

企業理念である「地球資源の有効活用」に取り組む当社は、食品関連事業においても地球資源の持続可能性に配慮した商品開発を進めており、現在、環境負荷が小さく生産効率も高い大豆ミート原料の開発を進めています。自社開発製品(Agriace ソイミートベースS)は、冷凍原料ベースとして仕上げることで、現在の主流である乾燥大豆ミート原料に必要な水戻し工程を不要とし、お客様の生産性向上やコスト低減、品質の均一化に貢献できるほか、ご要望に応じて様々な食感を提供できるなど、食品関連事業のビジョン「お客様の商品開発のベストパートナー」を体現した直近事例の1つとなっています。今後、冷凍食品メーカー、練り製品メーカー、ハム・ソーセージメーカー向けに2021年度より本格販売していく予定です。

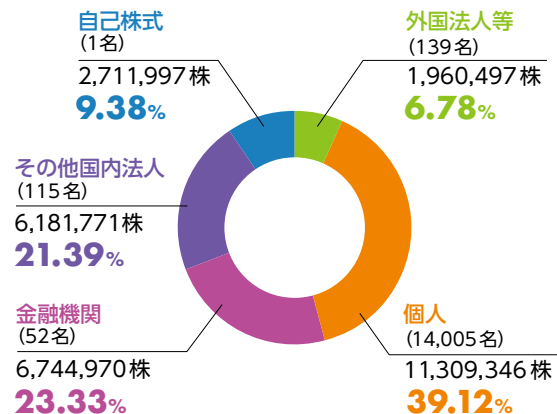
会社概要 (2020年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	1,438名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

株式の状況 (2020年9月30日 現在)

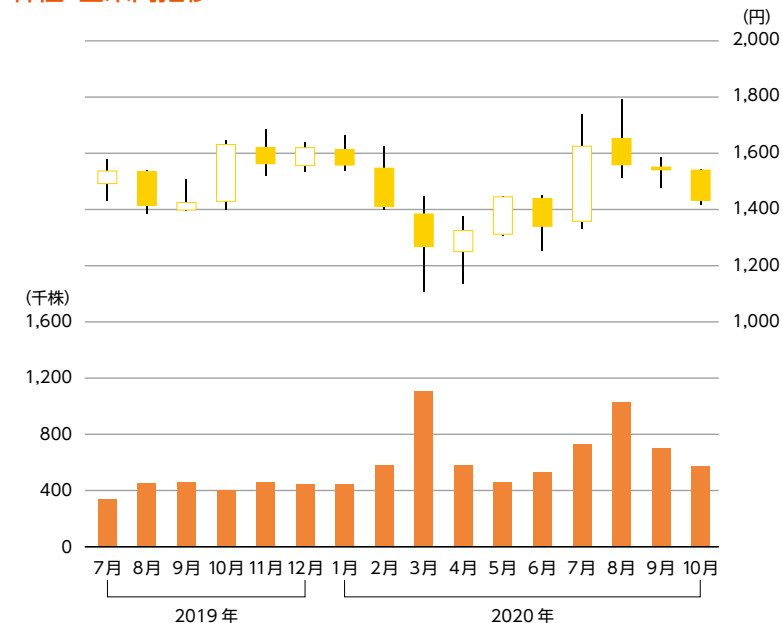
株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	14,312名

所有者別分布状況 (2020年9月30日 現在)



- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いたします。

株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) <郵送先> 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

